



## 希珠祭まであと3日！

第54回希珠祭が近づいてきました。9月10日までは通常の授業を行いながら希珠祭の取組も行う二刀流の生活を、今日から金曜日までは希珠祭の取組オンリーの3日間を経て、本番当日を迎えます。様々な生徒会行事の中で希珠祭ほど時間をかけ、熱量を注ぐ取組は他にありません。そんな大きな行事だけにみなさんには、ただ『楽しかったね』だけでは終わらせてほしくありません。▼学校の行事には必ずそれを行う目的があります。希珠祭の目的は次の3つです。▼①生徒会活動の集大成として**日常の学習の成果を発表し、豊かな文化を創造する**。希珠祭はみなさんがこれまでここ三珠中で学んだことを発表する場です。希珠祭の取組に追われ、普段の授業や係・当番・清掃などの活動が**いい加減になったのでは意味がありません**。三珠中での日々の生活の中で得たこと・成長できたことを希珠祭の取組で出す努力をしていきましょう。そうすれば必ずと素晴らしい発表になることでしょ。▼②**取組や発表を通して、自主的に活動する態度や協力する気持ちを育て、集団の一員としての自覚を高める**。希珠祭の取組は、普段の授業を日常的なものとするれば、非日常的な魅力でいっぱいです。1人何役もこなさなくてはならず、『やらなくてはならないことが多いなあ』と感じている人がいたとしたら、考え方を考えてみましょう。『やらなくてはならないこと』は『みんなの力になれること』なのです。『やらなくてはならないこと』と思っていると、誰かの指示がないと動けない指示待ち人間になりやすく、一方で『みんなの力になりたい』と思えば、少しでもみんなの力になるためにはどうしたら良いか、あれこれ工夫をします。この『工夫』こそが『自主性』なのです。これからの世の中では『自主性』が求められます。『やらなくてはならない』という受け身の姿勢から『みんなの力になりたい』という能動的な姿勢に考え方を考えるだけで、人生が大きく変わるかもしれません。▼希珠祭の活動の大半は、誰かと協力して何かを成し遂げる活動になっています。これはまさに世の中の縮図であり、集団の中で人と協力して何かを成し遂げることは、先の自主性と合わせて、これからの社会を生きていく上で必要なことであると私は考えます。集団に



においては、様々な立場があるとともに色々な考えを持つ人がいます。▼例えば、今、学年で取り組んでいる大縄跳びを例にして考えてみましょう。大縄跳びは2分×2セットの合計4分間に学年のメンバー全員が一斉に縄を跳んだ回数をその学年の記録とし、自分たちの学年の記録更新を目指して行う、まさに自分との戦いと言える種目です。各学年の人数や男女比が違うため学年間で競う競技ではありません。とはいえ、他学年の回数は気になるものです。『〇年生は連続△回跳んだよ。』などの会話もしばしば耳にします。『他学年に勝ちたい！』という感情を持つ人がいても自然なことです。さて、ここで**考えてほしいのが、大縄跳びの練習の時、それぞれが一体何を考えながら練習をしているのかです**。ここにみなさんが成長する要素があるのです。『楽しくて仕方がない』、『新記録を狙うぞ！』、『みんなで声を出して盛り上がっていきよう！』という人もいれば『自分の失敗で学年の足を引っ張るのが怖い』とか『跳ぶのに必死で声を出す余裕がないんだよな……』という人もいるかもしれません。**色々な人が所属する自分の学年の最高値を発揮するためには、並び方や縄の回し方等の技術面以外でどんなことが必要でしょうか？ここから先を考えてみてほしいと思います**。これは、大縄跳び以外の種目はもちろん、全校合唱や演劇、スタンプでも言えることです。▼③**学年・全校で取り組むことにより、仲間との絆を深め、達成感を味わう**。ここまで頑張ってきたみなさんには、本番でこれまで一番の発表や記録を残してほしいと願っています。ですが思い通りにいかないことが多々あるのも現実、本番が最高のパフォーマンスとならないこともあるでしょう。だからこそ、悔いを残さぬよう、限られた時間を大切にしてもらいたいですし、ベストを尽くしたのなら結果によらずこれまでの自分の努力や仲間と共に頑張ってきた過程に胸を張ってほしいと思います。▼これほどエネルギーを注ぎ込んだ希珠祭を終え、振り返りを行ったとき、『演劇が楽しかった』とか『縦割優勝できて良かった』という感想だけでなく、**希珠祭を通して「自分は何が変わることができたのか？」、「集団としてどこが成長できたのか？」を自分の言葉で語れることを期待しています**。

